

株式会社フィスコ2021年12月期第2四半期 決算説明資料

2021年8月13日



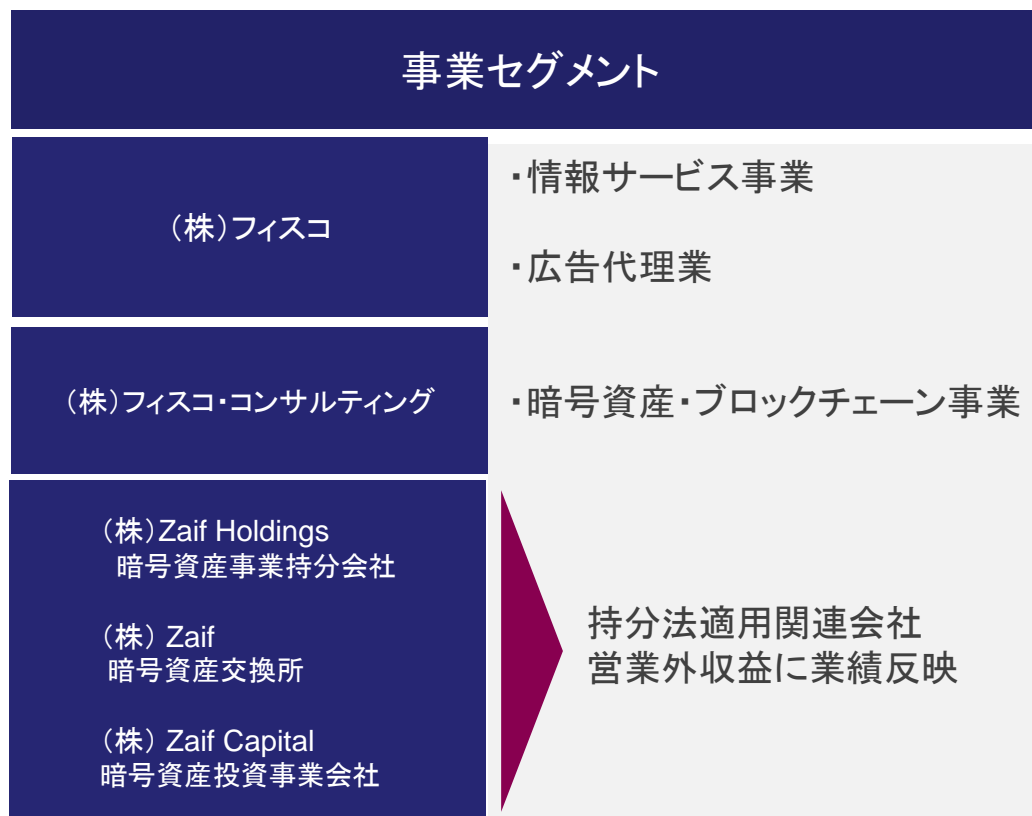
Copyright(c) 2012 by FISCO Ltd.

No part of this publication may be reproduced, stored in retrieval system, or transmitted in any means --- electronic, mechanical, photocopying, recording and otherwise --- without permission of FISCO Ltd.
This document provides an outline of a presentation and is incomplete without accompanying oral commentary and discussion.

I . 2021年12月期第2四半期 連結業績概要

II . 2021年12月期連結業績見通し

2021年12月期第2四半期 連結業績概要



売上が好調に推移し、前期比で大幅な営業利益を実現

単位:百万円



	2020年12月期 第2四半期	2021年12月期 第2四半期	対前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	449	531	82	18.3%
営業利益	▲96	19	116	—
経常利益	▲113	195	309	—
親会社株主に帰属する 当期純利益※	27	785	758	2,768%



※CAICAのZaifg HD子会社化に伴い、特別利益で持分変動利益を計上

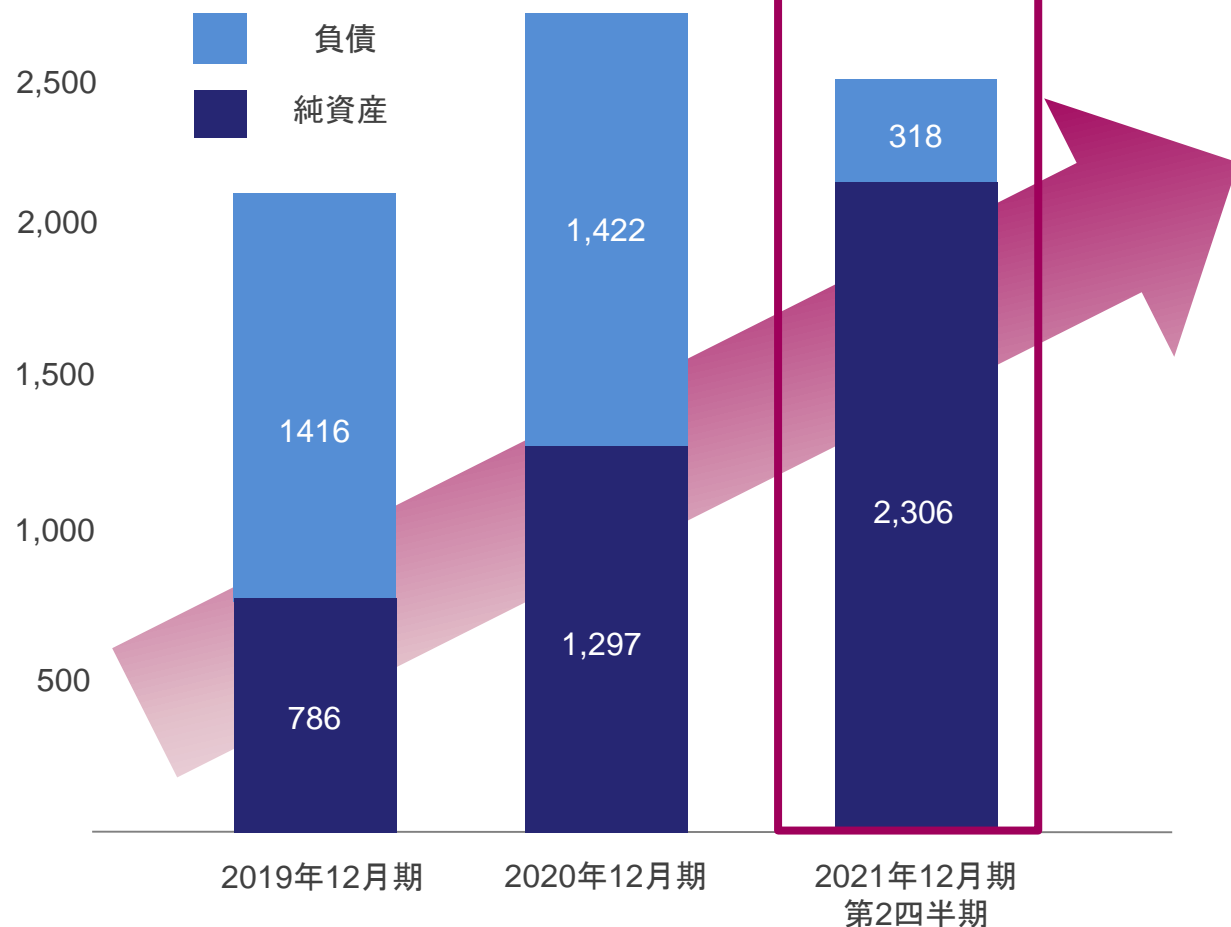
情報サービス事業における広告売上の増加等、新規の取り組みが奏功し、売上および営業利益は前年同期比を上回って着地

単位:百万円

	2020年12月期 第2四半期		2021年12月期 第2四半期		対前期差異		
	売上	営業利益	売上	営業利益	売上	営業利益	
情報サービス事業	418	65	505	154	87	80	
広告代理業	26	▲2	25	4	▲1	6	
暗号資産・ブロックチェーン事業	4	4	▲1	▲1	▲5	▲5	

今期に入り、負債および純資産が大幅に改善しており、安定的な財政状態を維持

単位(百万円)



負債比率
52%

14%

純資産比率
47%

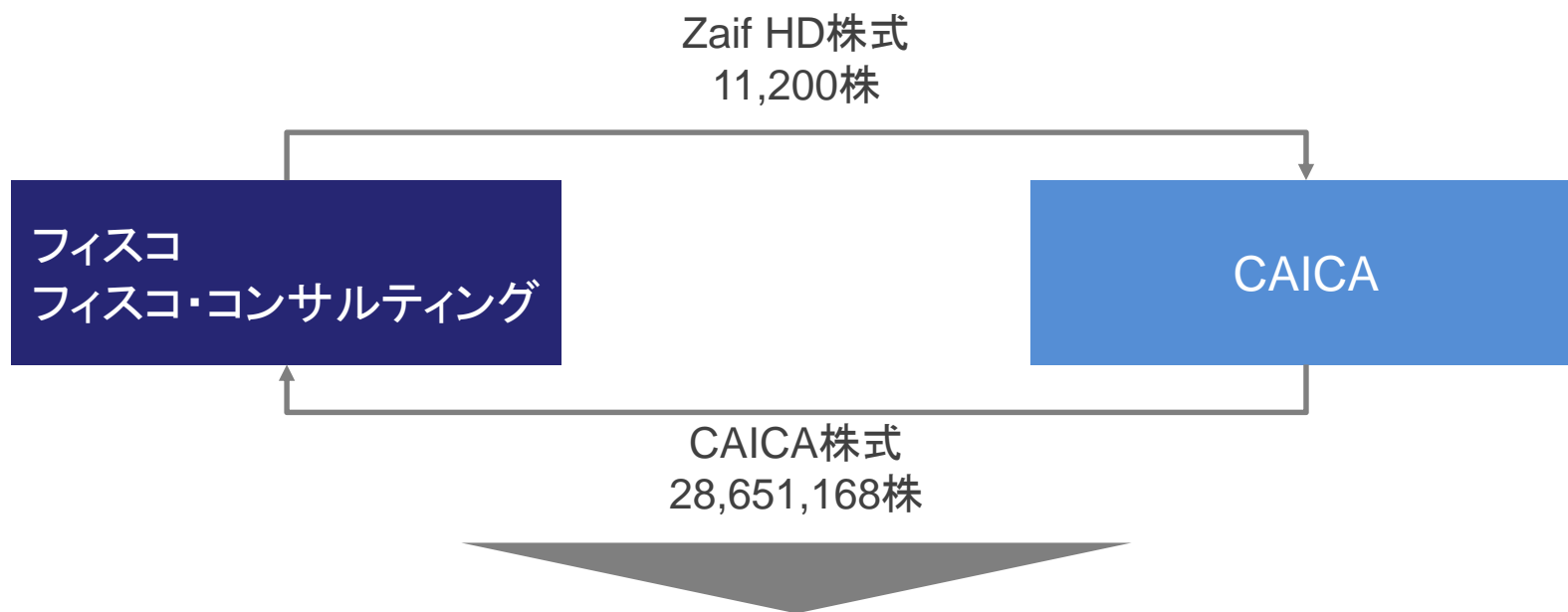
86%

※Zaifg HDがCAICAの子会社化に伴う、持分法に伴う負債が減少したため、自己資本比率が改善

2021年12月期連結業績見通し

当社及びフィスコ・コンサルティングが、株式会社CAICAが実施する株式交付に申込を行うことに伴い、ZaifHDは持分法適用関連会社から除外

株式交付比率：ZaifHD株式：CAICA株式＝1：2,558.14株



当社単体及び連結で、特別利益の発生見込み
ZaifHDは持分法適用関連会社から除外されるが、引き続き協業体制は継続

株式交付における2021年12月期の連結業績予想への影響は、現在精査中のため、事業計画は据え置き

1. 事業計画数値目標

単位:百万円

	2021年12月期 (前回修正値)
売上高	1,094
営業利益	91
経常利益 ※1	285
親会社株主に帰属する当期純利益 ※2	873

※1 2021年12月期第3四半期中に、Zaif Holdingsが、持分法適用関連会社から除外されることによる影響

※2 株式交付申込に伴う、特別利益の発生が見込まれ、2021年12月期の連結業績予想への影響につきましては、現在精査中となる

情報サービス事業

1. 個人投資家向けコンテンツ拡販の推進、投資教育・金融経済コンテンツサービス強化

- アウトソーシングサービス、個人向け「クラブフィスコ」が前期以上の売上で推移しており、既存の事業は安定的な成長を維持

2. 暗号資産の情報配信、日本国内および海外機関投資家向けコンテンツの拡大

- 暗号資産マーケットの活況に伴う、投資家の情報取得ニーズを取り込み、いち早く発信

CLUB FISCO

FISCO

FISCO Crypto Currency Index 100



3. フィスコブランドを活かした広告収入の実現

- FISCOのサブディレクトリー上で運営される比較サイトの広告収入が増加しており、コンテンツ拡充による売上増加を図る



メディアサイト・コンテンツ制作
会社名 株式会社Media Beats
<https://mediabeats.co.jp>

企業 IR 支援サービス

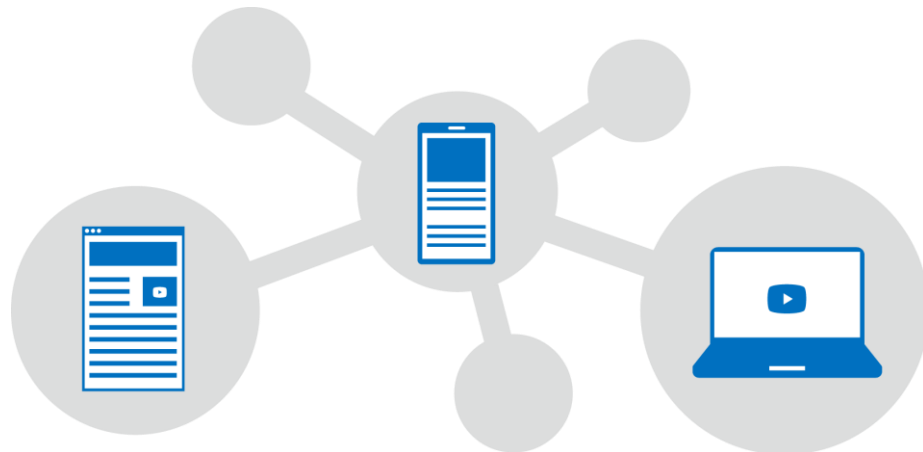
4. 継続契約社数の維持および新規契約の営業推進により、契約社数増加を目指す
 - 新型コロナウイルス感染症による契約減少から、徐々に復調傾向で、計画以上の受注にて推移
5. 統合報告書制作の推進および株主支援ビジネスの強化
 - 企業のESG、SDGsのコンサルティング、統合報告書などのニーズに応えたIR支援
 - バーチャル株主総会、議決権行使アプリケーションサービスの新規受注による売上実績もあり、更なる拡大を図る



広告代理業

6. 広告媒体提案力の強化や制作プロセス改善

- 東京2020オリンピック・パラリンピック関連団体からの受注も継続して獲得しており、動画制作等の提案活動の強化
- オンライン広告に重点を置いた案件獲得への営業・広告活動の強化を推進



フィスココイン(FSCC)経済圏の拡大およびFSCCの価値向上を通じてフィスコの企業価値の向上を目指す

インフラの充実

- ・プロトコルを「ERC20」に変更
- ・レンディングアプリケーション開発

サービスの拡充

- ・決済通貨として採用
 - クラブフィスコ
 - イーフロンティアストア
 - きちりホールディングスの飲食店舗用etc



流通の促進

- ・海外の暗号資産交換所へ上場
 - Hotbit
 - FinexBox
 - ProBit
 - Coinsbit
 - Exrates

ホルダーの参画

- ・株主優待としてFSCC付与
- ・マーケティングAirdropの実施
- ・FSCCを利用したレンディング

FSCCの取引促進キャンペーンを通し、取引価格は上昇傾向



FSCCの利用促進と、様々なキャンペーンを通じて利便性向上を進めながら、FSCCの価値向上を目指す

2020年12月期に引き続き期末配当を予定

2021年12月期配当(予定)

1株当たり配当金 **3.0円**

本資料の取り扱いについては、株式会社フィスコに関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述を含みます。

これらの記述は、当社が本資料の作成時点において入手した情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提(仮定)を使用しています。

これらの記述または前提(仮定)は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、統合レポート等をご参照ください。

本資料における将来に関する記述は、本資料の作成時点のものであり、本資料の作成時点の後に生じた事情によりこれらの記述に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務は負いかねますのでご了承ください。

本資料で使用するデータまたは表現等の欠落、誤謬、本書の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。